

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載
 【部門区分】第 1 部門第 2 区分
 【発行日】平成30年5月31日 (2018.5.31)

【公開番号】特開2017-127460(P2017-127460A)
 【公開日】平成29年7月27日 (2017.7.27)
 【年通号数】公開・登録公報2017-028
 【出願番号】特願2016-8569(P2016-8569)
 【国際特許分類】

A 6 1 B 1/06 (2006.01)

G 0 2 B 23/24 (2006.01)

【F I】

A 6 1 B 1/06 D

G 0 2 B 23/24 B

【手続補正書】
 【提出日】平成30年4月10日 (2018.4.10)

【手続補正 1】
 【補正対象書類名】特許請求の範囲
 【補正対象項目名】請求項 9
 【補正方法】変更
 【補正の内容】
 【請求項 9】

前記ガラス部材の材質がサファイアガラスである請求項 1 から 6 のいずれか 1 項に記載の内視鏡用コネクタ。

【手続補正 2】
 【補正対象書類名】明細書
 【補正対象項目名】0 0 1 3
 【補正方法】変更
 【補正の内容】
 【0 0 1 3】

この態様によれば、ガラス部材をガイド部材より 0 . 3 m m 以下の範囲で、画像信号送信用コネクタの先端から凹ませることで、ガラス部材が傷つくことを防止することができる。したがって、レーザーの効率が低下することを防止することができる。また、ガラス部材をガイド部材より凹ませることで段差が形成され、この段差で、水滴が溜まりやすくなることが考えられるが、本発明においては、ガイド部材に溝を有し、この溝により水滴を移動しやすくすることができるので、段差が設けられていても水滴が溜まることなく、移動させることができる。

【手続補正 3】
 【補正対象書類名】明細書
 【補正対象項目名】0 0 7 8
 【補正方法】変更
 【補正の内容】
 【0 0 7 8】

第 1 コネクタケース 1 8 A の接続面には、また、内視鏡側信号送受信部 5 0 に対応する位置に窓 2 3 が設けられている。この窓 2 3 を介して、内視鏡側信号送受信部 5 0 とプロセッサ装置側信号送受信部 6 6 との間で、信号通信制御が非接触で光送受信される。